

## 博士課程在籍者・修了者(博士人材データベース登録者)に対する「新型コロナウイルス流行の研究活動への影響等に関する調査」の結果(速報)の公表について

文部科学省 科学技術・学術政策研究所 (NISTEP, 所長 磯谷桂介) では、社会における博士人材の活躍状況を幅広く把握するため博士人材データベース (JGRAD : Japan Graduates Database) を運営しています。

2020年5月、博士人材データベースに登録している博士課程在籍者および博士課程修了者(退学者含む)に対して「**新型コロナウイルス流行の研究活動への影響等に関する調査**」を行いました。当該調査の主な結果を速報として、お知らせいたします。

2020年5月1日～5月25日にかけて、博士人材データベースに登録している博士課程在籍者および博士課程修了者・退学者に対して「**新型コロナウイルス流行の研究活動への影響等に関する調査**」を実施しました。その結果、博士課程在籍者729名、博士課程修了者・退学者376名の計1,105名から回答を得ることができました。

調査時点において「**新型コロナウイルスの流行が既に研究活動に影響を及ぼしている**」と回答した割合は、博士課程在籍者では85%、博士課程修了者・退学者では79%でした。また、本調査では「**新型コロナウイルスの流行による研究活動への影響**」を9種の活動の項目別に尋ねました。その結果、「**該当し、研究活動に大きな支障が出ている**」の回答割合は「**研究活動に利用している建物・研究室、設備(実験機器)等の利用停止**」が最も高く、次いで「**学会、シンポジウム、ワークショップ等の中止・延期**」でした。また、新型コロナウイルス流行によって「**博士の取得が既に遅れる予定だ(あるいはすでに遅れた)**」と回答した博士課程在籍者の割合は6%、「**博士の取得が遅れる可能性がある**」と回答した割合は30%でした。

本速報では「**新型コロナウイルス流行の研究活動への影響等に関する調査**」の主要結果を示します。なお、本発表は速報であり、暫定的な集計値を掲載しています。確報が発表された後は、確報を御利用ください。

※ 報告書(確報)につきましては、科学技術・学術政策研究所ウェブサイト(<https://www.nistep.go.jp/>)上に2020年8月頃に掲載予定です。将来的にそちらから報告書(確報)の電子媒体が入手可能となります。

(お問い合わせ)

科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ

担当: 齋藤、星野

TEL: 03-3581-2395(直通) FAX: 03-3503-3996

E-mail: [lprg@nistep.go.jp](mailto:lprg@nistep.go.jp) Web: <https://www.nistep.go.jp/>

## 【調査概要】

博士人材の活躍状況を幅広く把握するため、科学技術・学術政策研究所では博士人材データベース(JGRAD: <http://jgrad.nistep.go.jp/>)を構築・運営している。本調査は博士人材データベースに登録している博士課程在籍者および博士課程修了者(退学者含む)に対して、新型コロナウイルス流行の研究活動等への影響をアンケート調査したものである。本資料は、主な調査結果を速報として報告するものである。

### (1)調査対象

2020年5月1日時点で博士人材データベースに登録(メールアドレスを記入)している博士課程在籍者および博士課程修了者・退学者

※ 2014年より整備を進めている博士人材データベースは2020年6月現在、参加大学方式をとっており、49大学(国立大学35、公立大学8、私立大学6)が参加している。なお、特定の研究科のみ参加している大学もあり、全研究科参加は27大学となっている。

### (2)調査方法

2020年5月1日に調査依頼(日本語と英語)を電子メールで調査対象者に送付し、博士人材データベース上のウェブアンケート(日本語または英語)に回答

### (3)調査期間

2020年5月1日～2020年5月25日(当初5月22日を締め切りと告知したが、延長)

### (4)回答者数

調査依頼メール送信数:21,614名

調査期間中の博士人材データベースへのログイン者数:2,084名

回答者数:1,105名(博士課程在籍者729名、博士課程修了者・退学者376名)

調査依頼メール送信数に占める回答者数:5.1%

調査期間中のログイン者数に占める回答者数:53.0%

### (5)アンケート調査項目(択一式:20問、自由記入:2問)

- 「新型コロナウイルス」の流行が研究活動に及ぼす影響(択一式・自由記入)
- 「新型コロナウイルス」の流行が生活に及ぼす影響(択一式)
- 「新型コロナウイルス」の流行が博士号取得の時期に及ぼす影響(択一式)
- 「新型コロナウイルス」の流行に対して必要と考えられる支援(自由記入)

※ 日本語調査票への回答と英語調査票への回答を合算し、博士人材データベースに登録されている属性情報と照合し、集計した。

## 【結果概要(速報)】

主要結果として、調査における[問1][問2～問10(専攻分野計)][問21]に関して、博士課程在籍者および博士課程修了者・退学者の回答割合を示す。なお、専攻分野とは学校基本調査に準拠し、各回答者が在籍した博士課程の研究科に属する「人文(科学)」「社会(科学)」「理学」「工学」「農学」「保健」「その他」の研究分野の情報である。

### 問1: 近時の「新型コロナウイルス」の流行による研究活動全般への影響

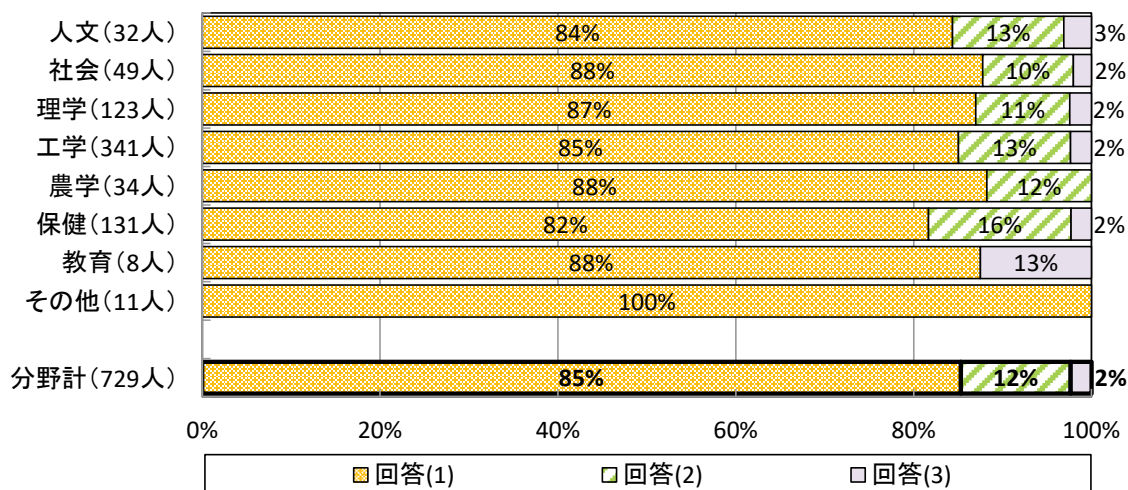
[問1] 近時の「新型コロナウイルス」の流行は、あなたの研究活動に影響を及ぼしていますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) 現時点で既に影響が出ている

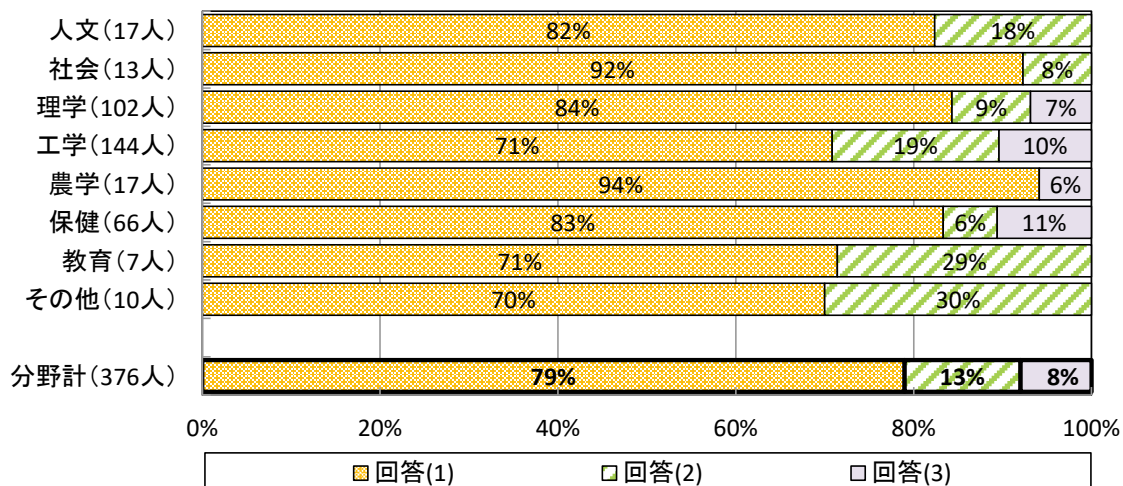
回答(2) 現時点で影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある

回答(3) 現時点でも、今後も影響はないと思う

概要図表 1 専攻分野別:[問1]の回答割合(博士課程在籍者)



概要図表 2 専攻分野別:[問1]の回答割合(博士課程修了者・退学者)



[問1]に「回答(1) 現時点で既に影響が出ている」と回答した割合は、博士課程在籍者で85%、博士課程修了者・退学者で79%となっている。

## 問2～問10：項目別の研究活動への影響と別手段による対応状況

[問2～問10: 専攻分野計 横断結果表示]

[問1]で(1)「既に影響が出ている。」、(2)「現時点で影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある。」と回答した方に伺います。

新型コロナウイルスの流行により、どのような影響が出ていますか？あるいは出ると思いますか？以下の項目について、それぞれもっともあてはまる選択肢をお選びください。

[問2] 学会、シンポジウム、ワークショップ等の中止・延期

[問3] 共同研究、その他研究の推進に必要な会議・打合せの中止・延期・形式の変更(ビデオ会議等)

[問4] 学内のゼミその他授業の中止・延期・形式の変更(ビデオ会議等)

[問5] 研究活動に利用している建物・研究室、設備(実験機器)等の利用停止

[問6] 図書館の利用停止、通学の禁止により、論文・資料の検索・閲覧が制限されること

[問7] 試料(生物・化石・鉱物等)収集、屋外調査、フィールドワーク、実験等の中止・延期

[問8] 試薬・実験動物・機材等の調達の遅れ

[問9] 一部の国、地域への渡航の禁止、自粛

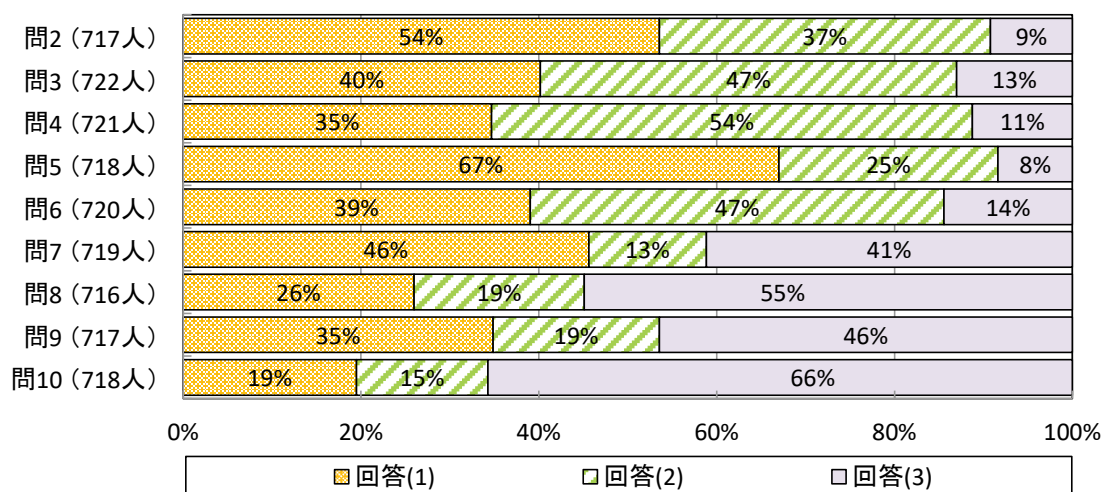
[問10] 一部の国、地域からの招への禁止、先方からの来訪の拒否

回答(1) 該当し、研究活動に大きな支障が出ている

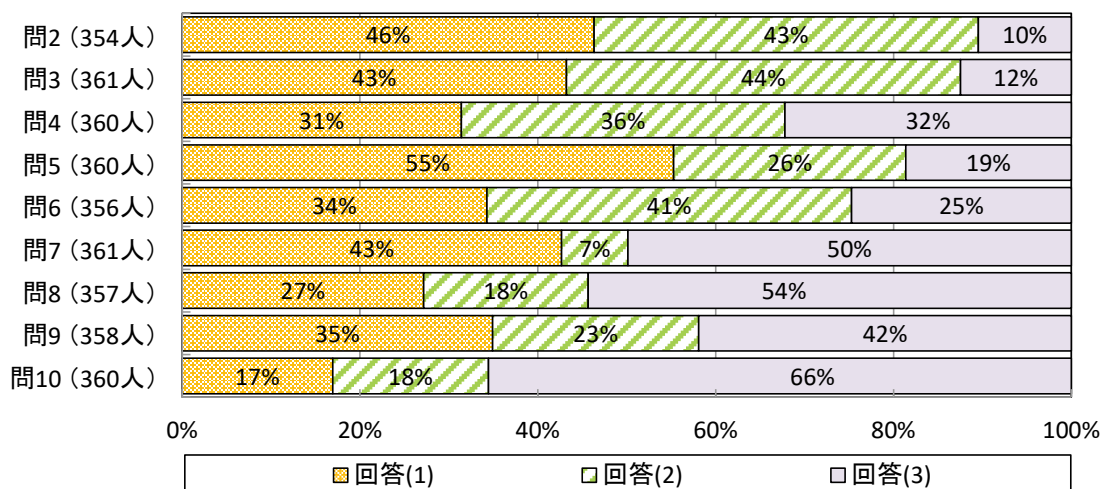
回答(2) 該当するが、別手段を講じるなど、研究活動に大きな影響はない

回答(3) 該当しない

概要図表3 [問2～問10]の回答割合(専攻分野計:博士課程在籍者)



概要図表 4 [問 2～問 10]の回答割合(専攻分野計:博士課程修了者・退学者)



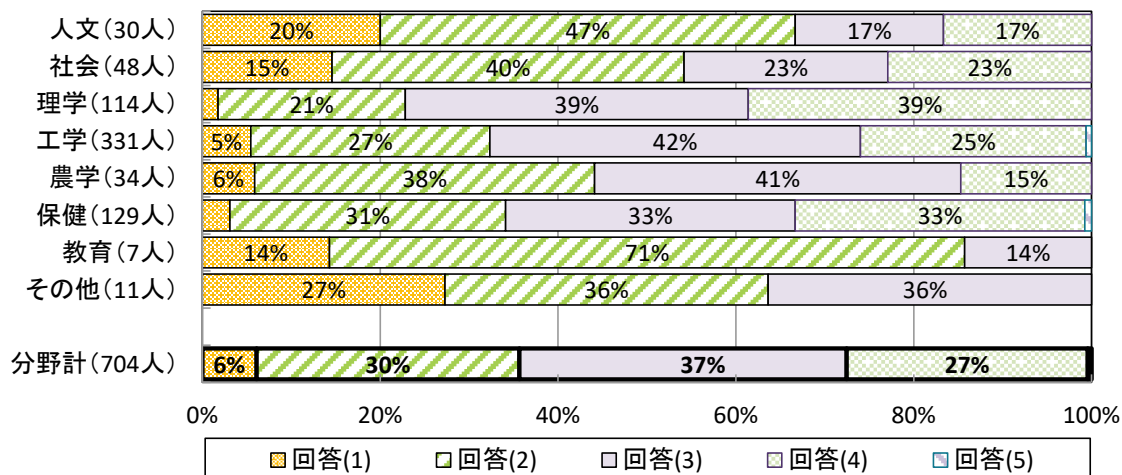
[問 2]～[問 10]の中で、「回答(1) 該当し、研究活動に大きな支障が出ている」と回答した割合は「問 5:研究活動に利用している建物・研究室、設備(実験機器)等の利用停止」が最も高く、博士課程在籍者で67%、博士課程修了者・退学者で55%となっている。次いで、「問 2:学会、シンポジウム、ワークショップ等の中止・延期」で回答(1)の割合が高く、博士課程在籍者で54%、博士課程修了者・退学者で46%となっている。

### 問21: 新型コロナウイルス流行が自身の博士の取得時期に与える影響の見通し

[問 21]博士課程在学中の方のみにお聞きします。新型コロナウイルス流行により、博士の取得の時期が遅れる可能性がありますか

- 回答(1) 博士の取得がすでに遅れる予定だ(あるいはすでに遅れた)
- 回答(2) 博士の取得が遅れる可能性がある
- 回答(3) 博士の取得が遅れる可能性がいくらかある
- 回答(4) 博士の取得が遅れる可能性はない
- 回答(5) すでに博士号を取得しており、関係が無い(この3月に取得した方を含む)

概要図表 5 専攻分野別:[問 21]の回答割合(博士課程在籍者)



[問 21]に「回答(1) 博士の取得がすでに遅れる予定だ(あるいはすでに遅れた)」と回答した博士課程在籍者の割合は 6%となっている。また、「回答(2) 博士の取得が遅れる可能性がある」と回答した割合は 30%、「回答(3) 博士の取得が遅れる可能性がいくらかある」と回答した割合は 37%となっている。

- ※ 調査結果の図表では、四捨五入によるパーセンテージの整数表示によって割合の合計値が 100%を越えるケースが存在する。
- ※ 本調査結果は概ね緊急事態宣言下の回答であり、宣言の解除等の情勢変化によって、状況が変化している可能性がある。

「問 2～問 10」の専攻分野別の図表を含めた択一式アンケート項目の調査結果は、『別添 1:調査結果(択一式)一覧』に記載しています。また、本調査の回答者の基本属性および博士人材データベースの参加大学の一覧は『別添 2:調査回答者の基本属性・博士人材データベースの参加大学一覧』に記載しています。